

平成30年度まちづくりネットモニター第8回調査結果 テーマ「郡山市の環境について」

郡山市では、平成30年度から4年間を計画期間とする「郡山市第三次環境基本計画」を策定いたしました。

本市を取り巻く環境の変化を迅速に捉え、計画的に環境施策を展開するため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(生活環境課)

調査概要

○調査期間	平成30年9月19日(水)～9月28日(金)(10日間)
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を送信する。
○モニター数	340名 (男性 148名 女性 192名)
○回答者数	314名 (男性 140名 女性 174名)
○回答率	92.4%

【結果概要】

より良い環境づくりを進めていくためには「ごみの減量やリサイクルの推進」や「自然災害に強い安全なまちづくり」、「省エネルギーに関する取り組み」が重要であると回答した方が多かった。

また、町内会で実施する清掃活動などの環境保全活動に参加する方が少なくなってきたこと、環境保全活動は何も行っていないと回答した方が半数以上あった。

環境問題は、一人ひとりが日常生活で身近に出来る取り組みの積み重ねが大事であることから、情報発信には、広報紙によるもののほか、マスメディアやICT活用等、効果的な啓発活動を実施していきたい。

【主なポイント】

・気候変動（地球温暖化）の現状について、「悪くなっている」、「どちらかというと悪くなっている」と回答した方（75.8%）

【参考：平成28年度調査56.5%】

・テレビや照明などはこまめに消すなど、節電に取り組んでいる方（69.7%）

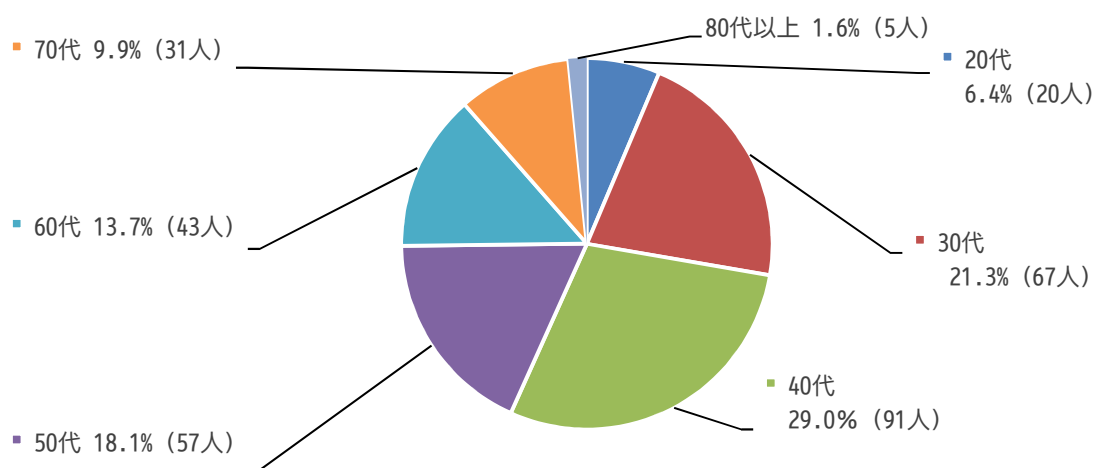
【参考：平成28年度調査65.8%（前回調査より3.9%増）】

・買い物の際に、エコバッグ等を持参している方（87.6%）

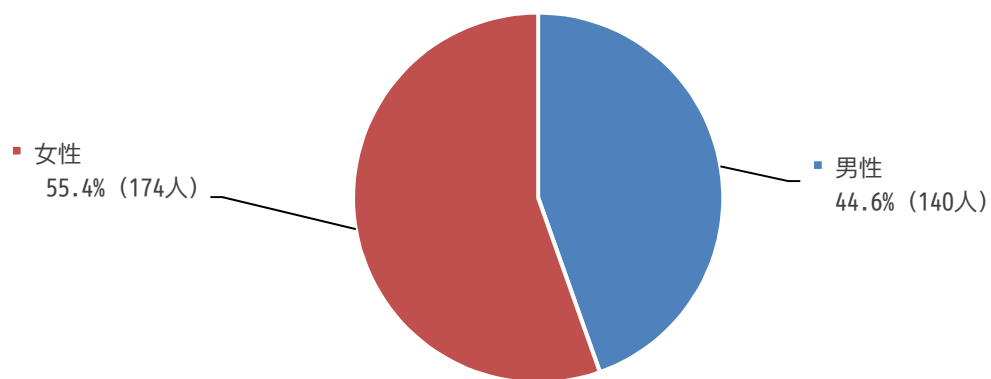
【参考：平成28年度調査73.6%（前回調査より14.1%増）】

・環境問題を身近なこととして捉えるためにも、多様な場や機会での環境教育・環境学習が大事である。【環境教育・環境学習の推進】

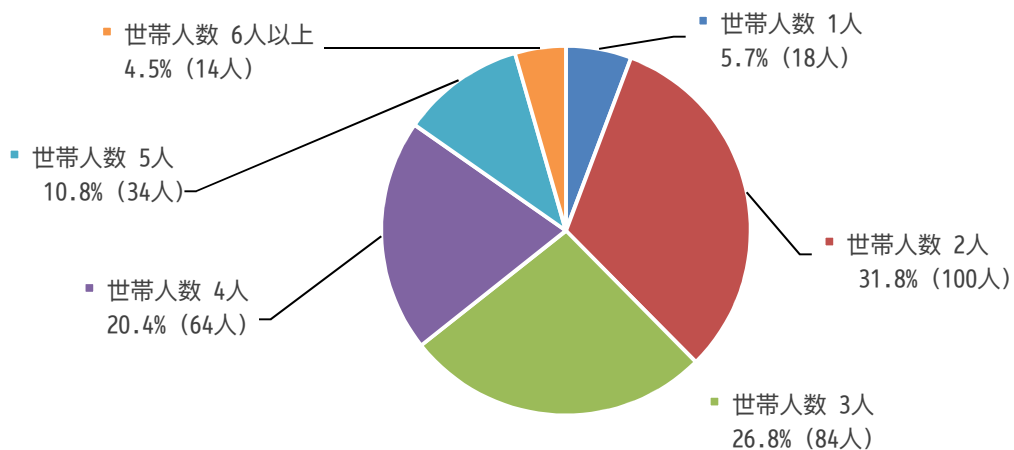
年齢



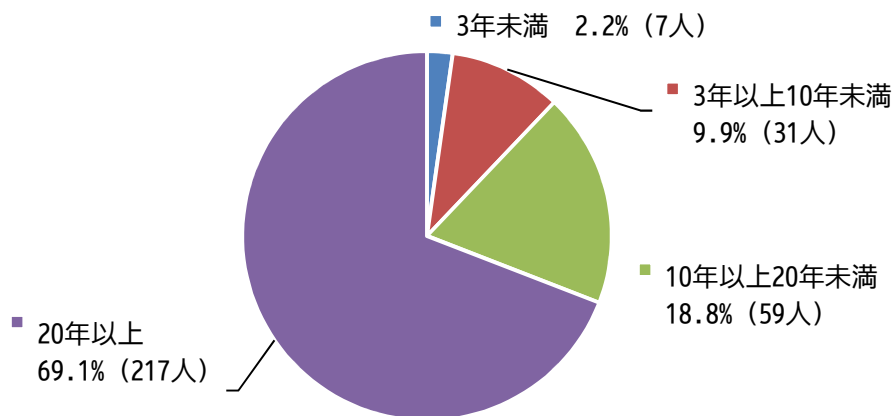
性別



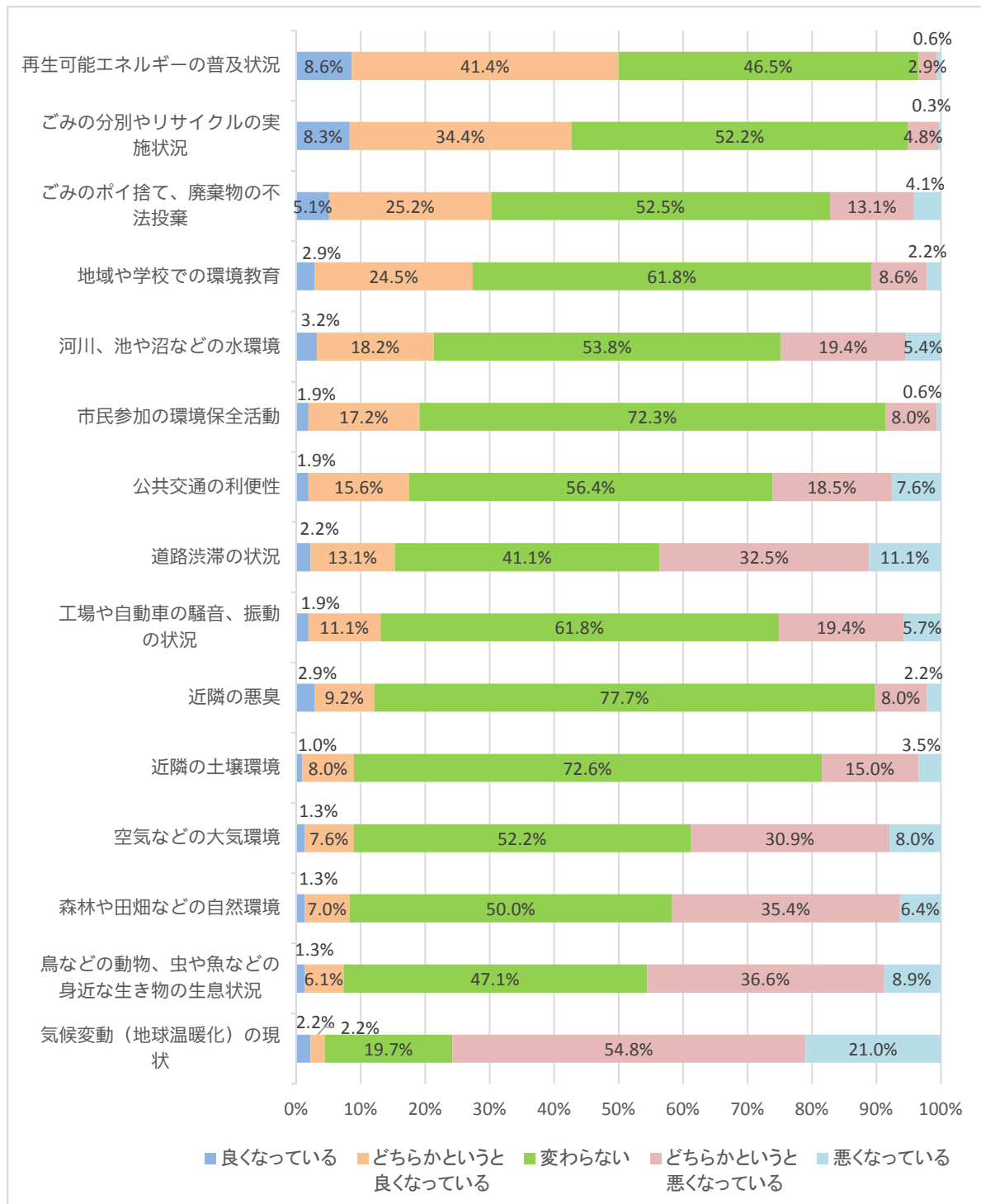
世帯人数（自分と同居者の数）



郡山市での居住年数



問1 お住まいの地域を中心とした生活環境について、4～5年前と比べてどのように変わったと思いますか？

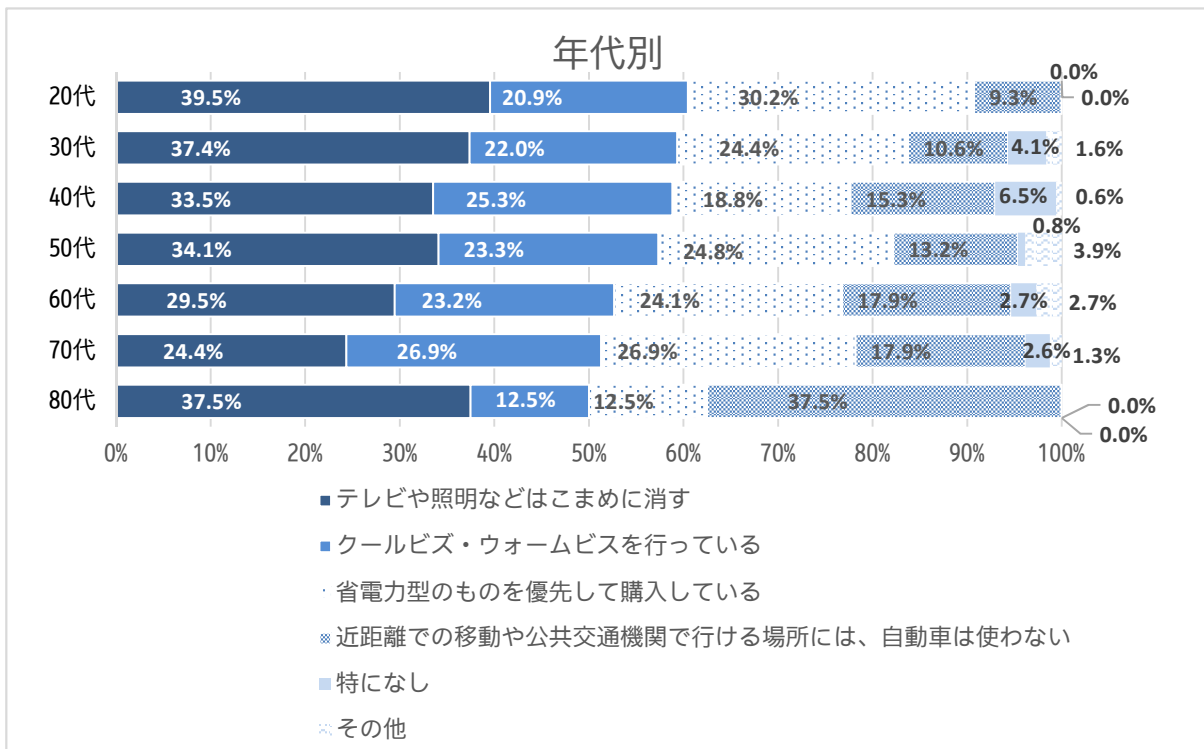
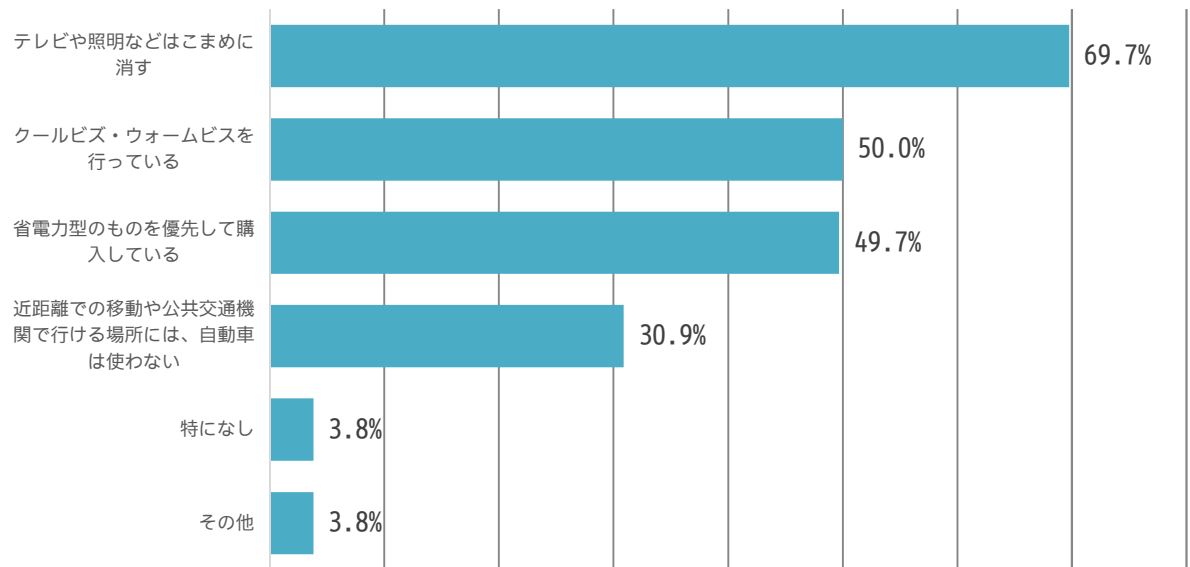


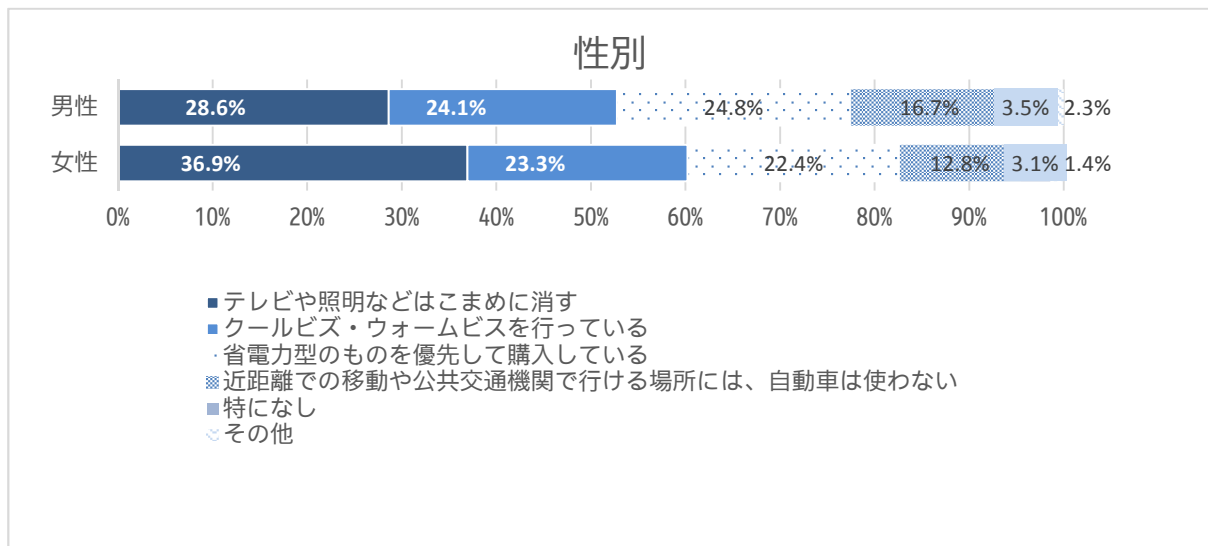
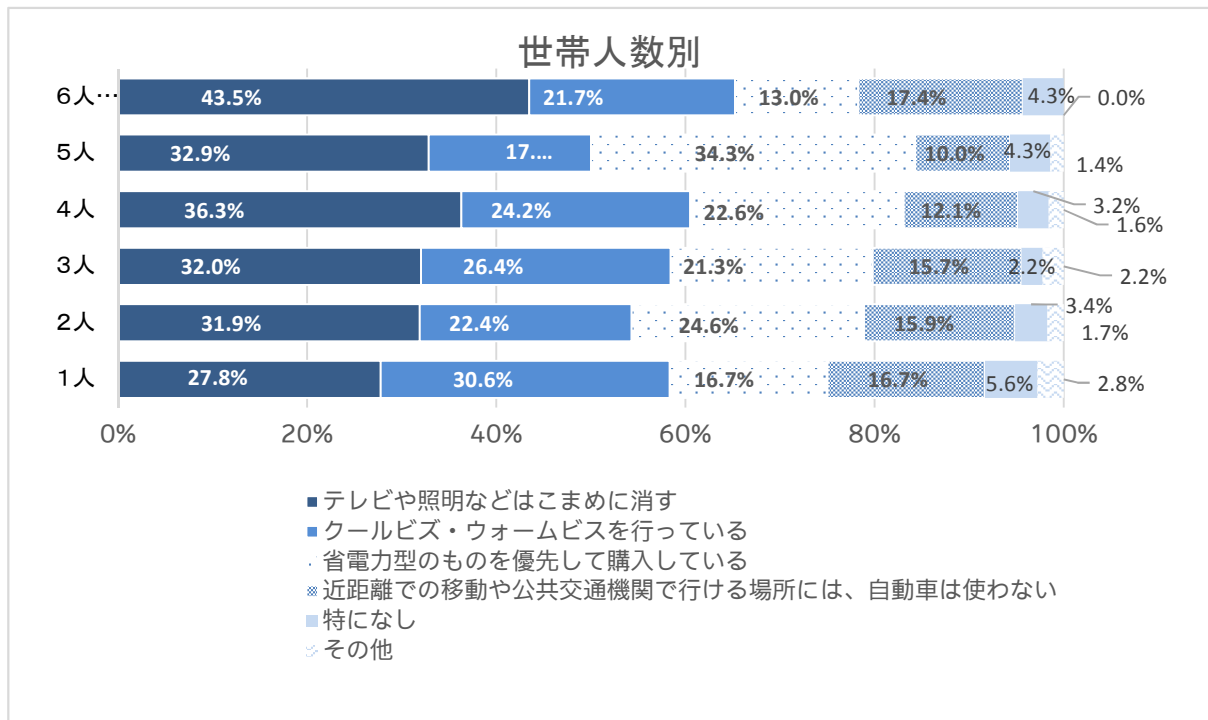
【Point】

4～5年前と比べて、「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの普及状況」や「ごみの分別やリサイクルの実施状況」については、『良くなっている』、『どちらかというと良くなっている』との回答が多い一方で、「気候変動（地球温暖化）の現状」や「鳥などの動物、虫や魚などの身近な生き物の生息状況」については、『悪くなっている』、『どちらかというと悪くなっている』という回答が多かった。

問2 地球温暖化を防止するためには、私たちが日常生活において、環境に配慮した取り組みを実施することが効果的と考えられますが、あなたが環境に配慮している取り組みはありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
テレビや照明などはこまめに消す	219人
服装を調整して過度な冷暖房に頼らないクールビズ・ウォームビズを行っている	157人
電化製品は、省電力型のものを優先して購入している	156人
近距離での移動や公共交通機関で行ける場所には、自動車は使わないようにしている	97人
特になし	12人
その他	12人
計	653人





※「その他」を選択した方の主な意見

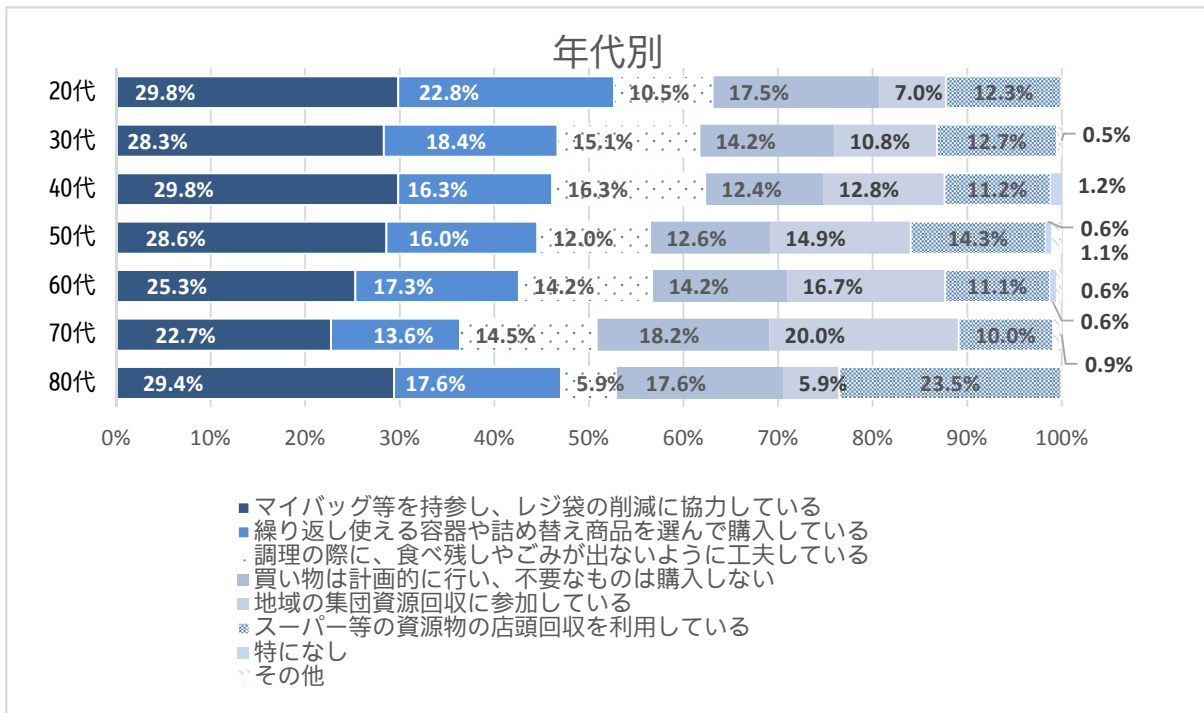
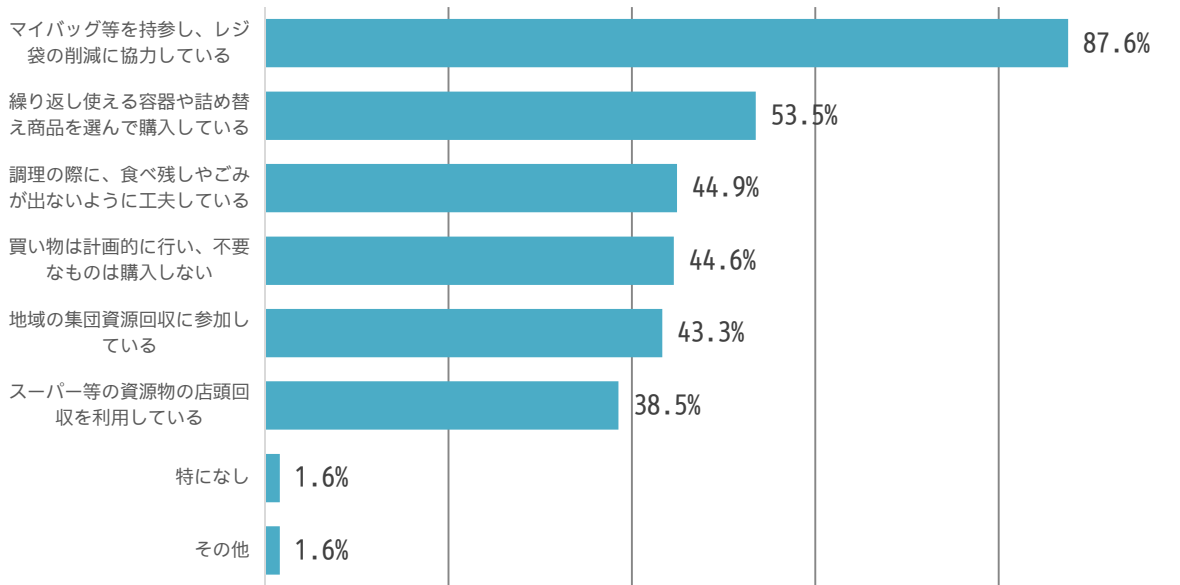
- ・自転車通勤
- ・福島県推奨のウォークビズをやっている
- ・電気自動車にしている
- ・ハイブリッド車に乗る

【Point】

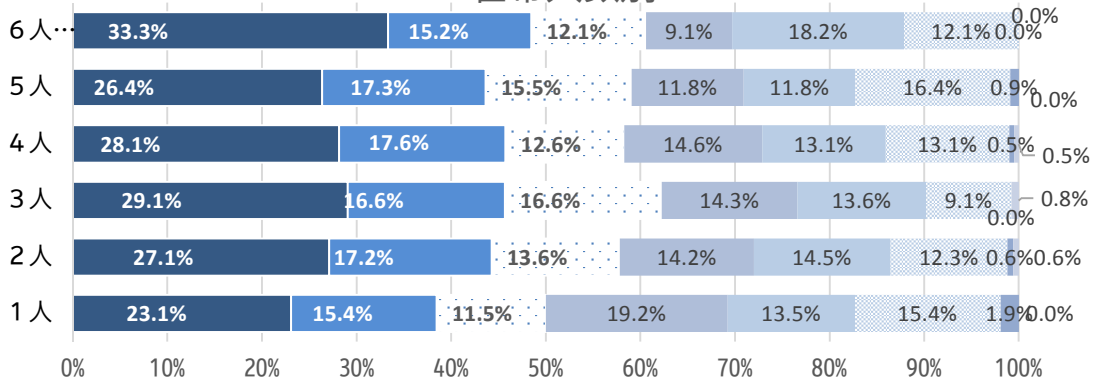
いずれの年代においても節電の意識が高く、クールビズ・ウォームビズも浸透してきているが、近距離での移動や公共交通機関で行ける場所でも自動車を利用している割合が高いことから、徒歩や自転車、公共交通機関の利用促進に繋がる取り組みが必要である。

問3 天然資源の消費を抑制して、環境への負荷をできる限り減らす循環型社会を実現するためには、ごみの減量化・資源化への取り組みが求められますが、あなたが普段心がけている取り組みはありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
買い物の際には、マイバッグ等を持参し、レジ袋の削減に協力している	275人
繰り返し使える容器や詰め替え商品を選んで購入している	168人
調理の際に、できるだけ食べ残しやごみが出ないように工夫している	141人
買い物は計画的に行い、無駄になるものや不要なものは購入しない	140人
地域の集団資源回収に参加している	136人
スーパー等の資源物の店頭回収を利用している	121人
特になし	5人
その他	5人
計	991人

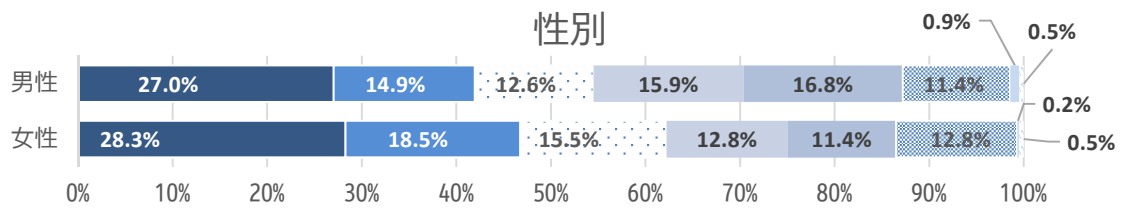


世帯人数別



- マイバッグ等を持参し、レジ袋の削減に協力している
- 繰り返し使える容器や詰め替え商品を選んで購入している
- 調理の際に、食べ残しやごみが出ないように工夫している
- 買い物は計画的に行い、不要なものは購入しない
- 地域の集団資源回収に参加している
- スーパー等の資源物の店頭回収を利用している

性別



- マイバッグ等を持参し、レジ袋の削減に協力している
- 繰り返し使える容器や詰め替え商品を選んで購入している
- 調理の際に、食べ残しやごみが出ないように工夫している
- 買い物は計画的に行い、不要なものは購入しない
- 地域の集団資源回収に参加している
- スーパー等の資源物の店頭回収を利用している

※「その他」を選択した方の主な意見

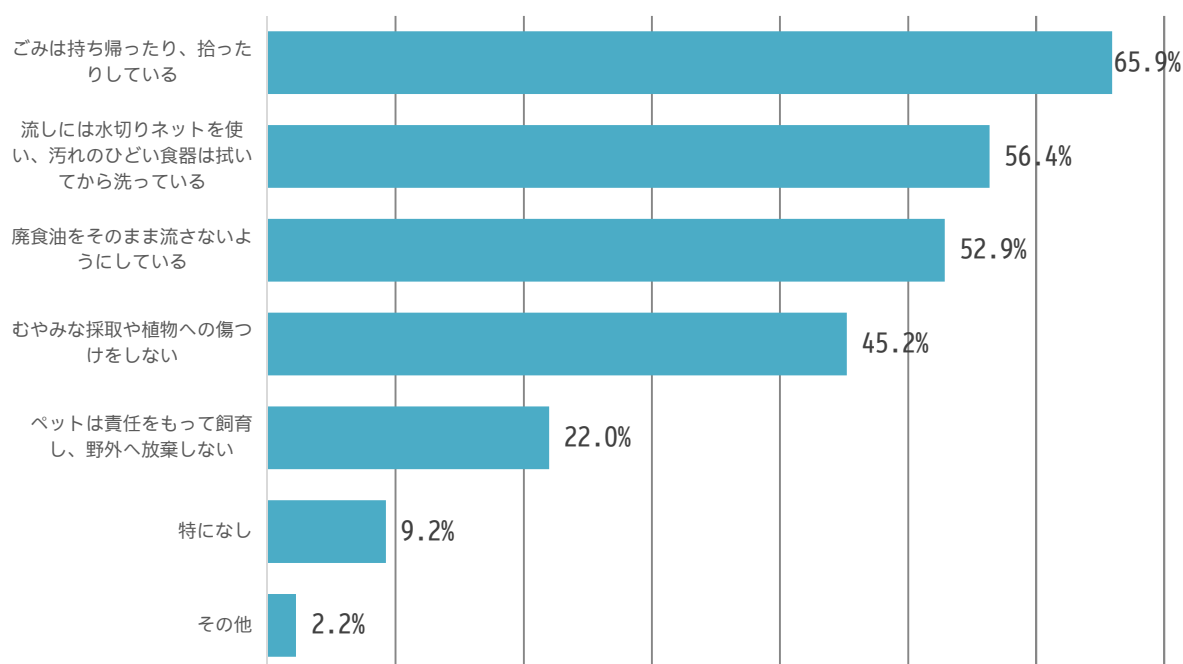
- ・ 食べ残しは畑にて肥料を作っている
- ・ 出来るだけ惣菜を買わない（余分なパック削減）
- ・ 一度読んで終わりのもの（雑誌新聞小説など）は借りたり、電子書籍を利用
- ・ 生ごみはコンポストに入れる
- ・ 資源ごみは分別して廃棄している

【Point】

男女別、年代別問わず、多くの方がマイバッグを持参し、レジ袋の削減に協力している。一方で、資源物回収への参加・利用が低く、特に20代での回収利用が低いことから、資源物回収の増加に向けた取り組みが必要である。

問4 猪苗代湖をはじめとした豊かな自然や多様な動植物を次の世代に引き継ぐために、あなたが取り組んでいることはありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
自然の美しさやきれいさを守るためにごみは持ち帰ったり、拾ったりしている	207人
流しには水切りネットを使い、汚れのひどい食器は拭いてから洗っている	177人
廃食油をそのまま流さないようにしている	166人
むやみな採取や植物への傷つけをしない	142人
ペットは責任をもって飼育し、野外へ放棄しない	69人
特になし	29人
その他	7人
計	797人



※「その他」を選択した方の主な意見

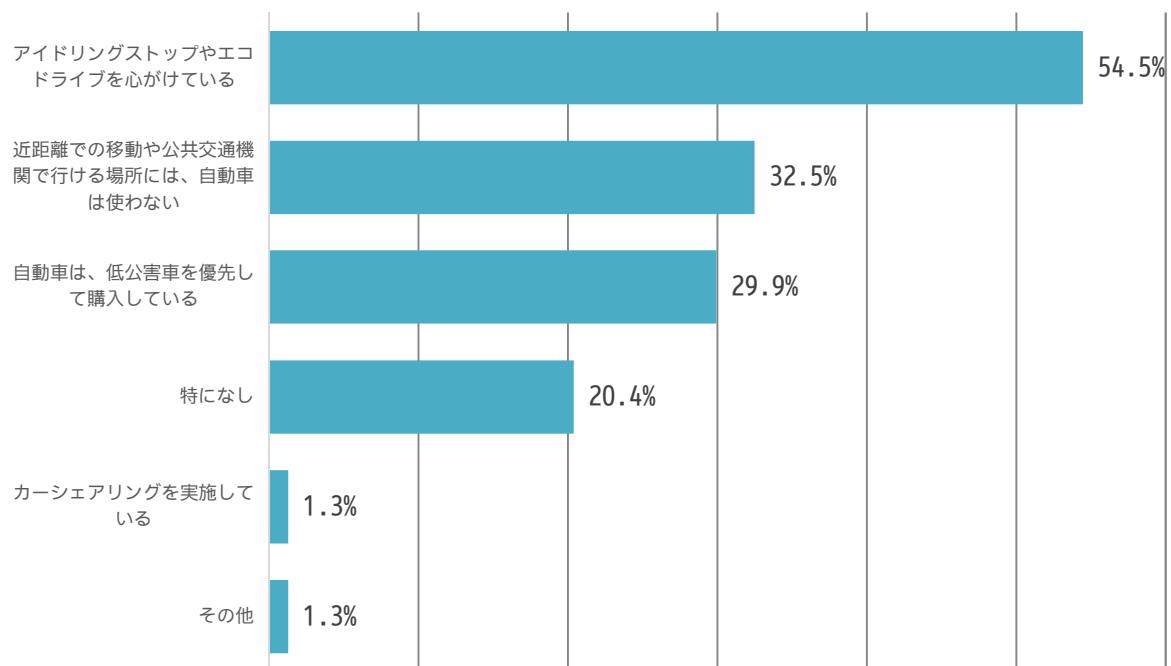
- ・畑作をして荒地地化を防ぎ、周りの自然も大切にしている
- ・猪苗代湖のクリーンアップに参加している
- ・合併浄化槽の使用
- ・まず行政がすべきです

【Point】

自然環境を守るため、ごみの持ち帰りやごみ拾いを行っている割合が65.9%と多く、また生活排水対策も浸透してきていることから、引き続き自然環境保全に向けた啓発等を行う必要がある。

問5 かつてのような著しい産業公害は見られなくなりましたが、日常生活や経済活動（事業活動）による都市生活型の公害が課題となっています。私たちが健やかな生活を送るためには、自動車や事業活動などに伴う大気汚染対策が必要です。大気環境を保全するために、あなたが行っていることはありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
自動車を運転する際はアイドリングストップやエコドライブを心がけている	171人
近距離での移動や公共交通機関で行ける場所には、自動車は使わないようにしている	102人
自動車は、低公害車を優先して購入している	94人
特になし	64人
カーシェアリングを実施している	4人
その他	4人
計	439人



※「その他」を選択した方の主な意見

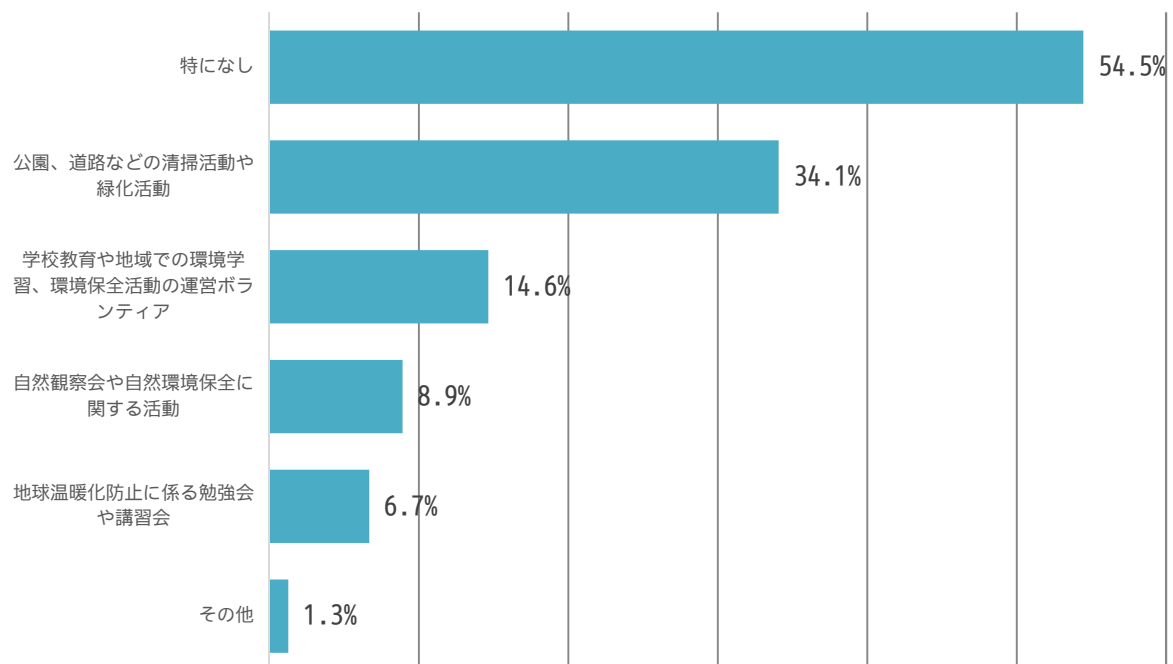
- ・ エンジンを不要に付けない、ふかさない
- ・ 不必要な加速やエアコンの多用をせず、適正運転を心掛ける
- ・ 自転車の活用
- ・ 個人に期待するのではなく行政が施策として行うべき

【Point】

アイドリングストップやエコドライブを心がけているとの回答が多いものの、近距離での移動や公共交通機関で行ける場所でも自動車を利用している割合が高い。また、カーシェアリングを実施している割合が1.3%と低いことから、カーシェアリングの普及に向けた取り組みが必要である。

問6 さまざまな環境問題を解決するには、市民、事業者、市（行政）の連携が不可欠で、環境問題を常に自分自身の問題として捉え、自発的な環境行動も重要となりますが、あなたが取り組んでいる環境保全活動はありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
特になし	171人
公園、道路などの清掃活動や緑化活動	107人
学校教育や地域での環境学習、環境保全活動の運営ボランティア	46人
自然観察会や自然環境保全に関する活動	28人
地球温暖化防止に係る勉強会や講習会	21人
その他	4人
計	377人

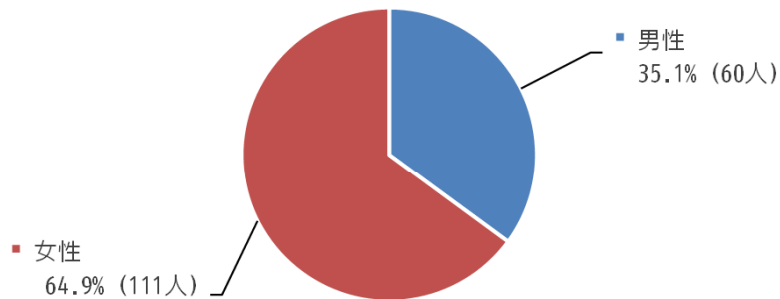


※「その他」を選択した方の主な意見

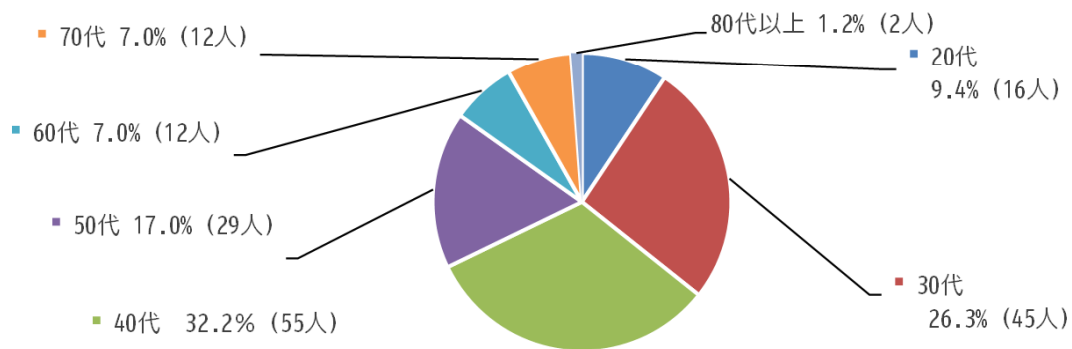
- ・市のクリーン運動に参加している
- ・町内会での清掃
- ・生活環境内で植物を育て、緑を増やしている
- ・自然を愛する気持ちがなければ誰が何をしても効果なし。川に小魚が泳ぐ地域づくりをすべき

◆問6の選択肢別
「特になし」と回答した人

【男女別内訳】



【年代別内訳】

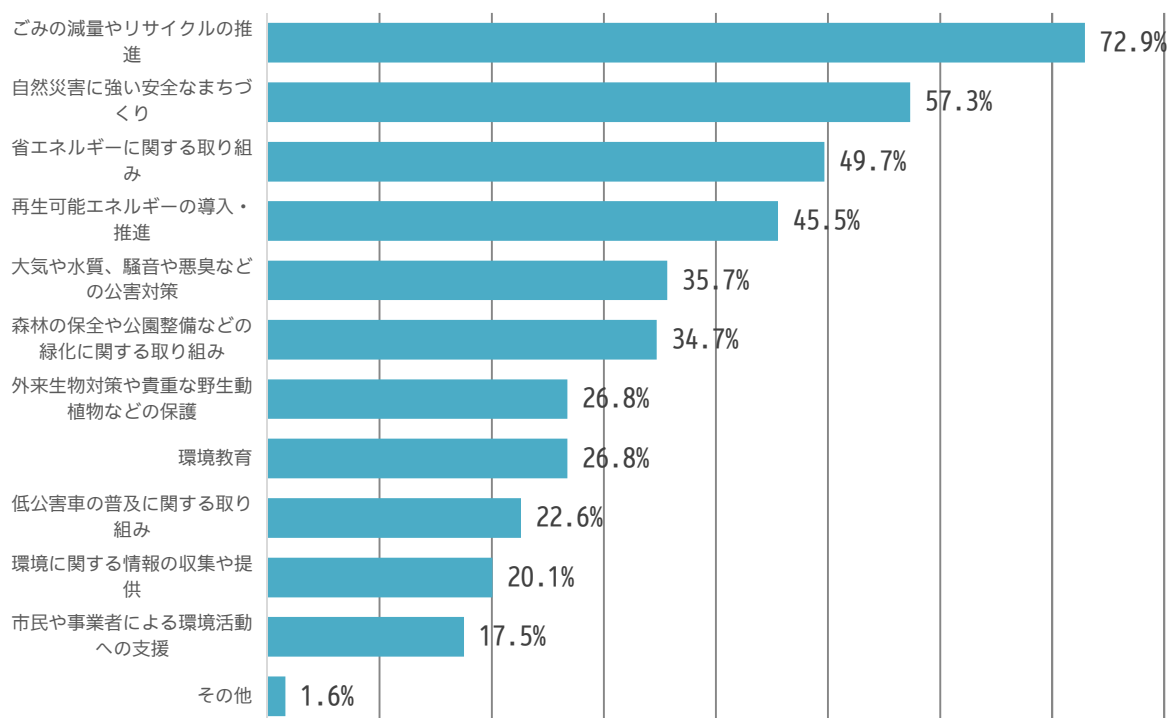


【Point】

普段、取り組んでいる環境保全活動について、「特になし」と回答した方が54.5%と多かった。特に30代～40代の世代が高いことから、幅ひろい世代への情報発信や参加しやすい体制づくりが必要である。

問7 より良い環境づくりを進めるために、特に重要と思われるものを選んでください（複数選択可）

選択肢	回答数
ごみの減量やリサイクルの推進	229人
自然災害に強い安全なまちづくり	180人
省エネルギーに関する取り組み	156人
太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入・推進	143人
大気や水質、騒音や悪臭などの公害対策	112人
森林の保全や公園整備などの緑化に関する取り組み	109人
外来生物対策や貴重な野生動植物などの保護	84人
環境教育	84人
低公害車の普及に関する取り組み	71人
環境に関する情報の収集や提供	63人
市民や事業者による環境活動への支援	55人
その他	5人
計	1291人



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・様々な啓発が必要だと思います
- ・ごみの有料化
- ・煙草の煙、におい、吸い殻のポイ捨てを何とかして欲しい

【Point】

より良い環境づくりを進めていくためには「ごみの減量やリサイクルの推進」や「自然災害に強い安全なまちづくり」、「省エネルギーに関する取り組み」が重要であると回答した方が多かった。

問8 郡山市の環境に関する施策や身近な環境問題に対するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

- ・ みんなで少しずつの意識した配慮の積み重ねが大切です。
- ・ ごみの分別、ポイ捨て禁止、河川環境汚染等、各自、意識して取り組みたい。
- ・ より良い環境をつくる為にも 一人ひとりが意識して、自分に出来ることから始めるのが大事だと思う。
- ・ 郡山市は、都市と自然が共有した町なので、これを両立できる循環システムを確立することが重要だと感じます。
- ・ 資源物の回収、リサイクルには、もっと積極的にアピールし、ごみの減量化を市全体ではかって欲しい。私は週に1~2回しか車を使用しないので、カーシェアリングを郡山、例えば公民館辺りを窓口にして、出来たら良いと思っています。
- ・ 環境問題に取り組む意識はなくても、民間のスーパーのポイント還元や買い物袋持参の時の値引きなどで、リサイクルやエコに興味を持つ人が増えていると思います。直接、自分の利益になるところから取り組むことも必要だと思います。
- ・ ごみの出し方マナーはどの地域も悩んで困っています。他の地域で成功した例を町内会を通じて情報発信し、郡山独自のゴミ出しシステムを作り上げたいものです。
- ・ 高齢化により手入れされない森林や田畑が至る所にあるが、個人レベルでは何ともしようが無いので、そういう所を行政も支援して欲しい。
- ・ 市民の安全安心な自然災害からの防災第一の環境作りが第一と思います。
- ・ 世代交代が進み、町内会の清掃活動などに参加する若者が少なくなっているのが問題
- ・ 市の広報紙での啓蒙活動や活動報告など、充実していると感じております。ただ、市民全体に浸透しているかということ必ずしもそうではないのが現状です(広報紙に目を通していない人が多い)。テレビのローカル番組が数年前に比べて充実しておりますので、こうした媒体を活かすことも必要だと思います。
- ・ なかなか、町内会などの清掃も普段仕事で付き合いが無いため、参加しづらく、そのままにしています。何事も参加しやすい環境づくりが、大事かと思います。
- ・ ごみの分別を自宅ではやっていますが、職場など外の環境になると出来ない人が多く感じる。一人一人の意識付けを小さなうちからやる事で、自然にどこでも出来ると思うので、しっかりとした教育が必要だと思います。
- ・ 良くなっている部分もあるけれど、悪くなっている部分もある。それを踏まえた上で、自分はどうするべきか各々が考えないといけないが、まだそういった考えが各々足りてないと思う。もっと小さいうちから考える場を設け、大人になっても忘れずに行えるよう環境問題のあり方を各々考えられるような機会を設けて欲しいと思う。